

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|---|-------------------|-----------------------------|
| 科目名 | 公的扶助論 (Public Assistance) | | |
| ナンバリングコード | E20918 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉 |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 2年 / 前期 |
| 必修・選択区分 | 選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | E017701 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 田中 秀和 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は必ず受講してください。 よく考え、たくさん読み、真摯な態度で授業に臨んでください。 | | |
| 教科書 | 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編(2021)『貧困に対する支援』中央法規。 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 湯浅誠(2008)『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』岩波新書。 金子充(2017)『入門 貧困論—ささえあう／たすけあう社会をつくるために』明石書店。 岩永理恵・卯月由佳・木下武徳(2018)『生活保護と貧困対策—その可能性と未来を拓く』有斐閣。 社会福祉原論、社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、就労支援サービスなど。 | | |
| 関連科目 | | | |

| ○基本情報 | | | | | | | |
|------------------|---|-----------|--------|----------------|---------|-----------------|--------|
| 授業の目的 | この科目では、社会福祉分野の中でも、「貧困に対する支援」を学習します。この学修を通して、低所得者の現状や支援を学ぶだけでなく、当事者の生活をイメージしながら専門職としてどのような支援が必要なのかを考えます。また、生活保護制度や低所得者に対する支援策などの制度面においても、現行制度の理解した上で、自分なりの考えをまとめていきます。 | | | | | | |
| 授業の概要 | 公的扶助とは、生活に困窮するものに対し、その者の資力と需要を調査した上で、公的な一般財源から支出される経済給付(現金または現物給付)のことをいいます。日本では生活保護制度がこれに当たります。公的扶助論では、生活保護の原理・原則、保護の種類・範囲・方法、保護の基準・実施機関など、生活保護制度全般に習熟するとともに、その他の貧困層・低所得者対策も視野に入れながら、憲法25条に規定された「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのようなものなのか、また、当事者に対する支援として何が必要とされるのかを考えていきます。 | | | | | | |
| 授業の運営方法 | <table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table> | (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | (3) アクティブ・ラーニング | 「該当なし」 |
| (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | | | | | | |
| (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | | | | | | |
| (3) アクティブ・ラーニング | 「該当なし」 | | | | | | |
| 地域志向科目 | カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | | | | | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | | | | | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|---|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | 今日の生活困窮者支援(生活保護制度、生活困窮者自立支援制度など)、雇用、就労状況と生活について考察することができる。 | | 25点 | |
| 【知識・理解】 | 生活保護制度の基本的な内容(原理・原則、権利と義務、扶助の種類等)、低所得者対策、ホームレス支援などについて理解している。 | 50点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | | | | |
| 【思考・判断・創造】 | 生活保護制度のあり方や見直しについて自分の考えを説明できる。 | | 25点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) |
|---|
| 振り返りシート等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用・専門職としての視点等) ※受講者の振り返りシートの内容を踏まえて、講義の最初に前回の講義の振り返り等を行う。 |

| ○その他 |
|------|
| |

2021年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 公的扶助論 (Public Assistance) 田中 秀和 | 授業コード | E017701 |
|--|------------------------------|------------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 1. オリエンテーション 本講義の目的、到達目標及び授業計画等について説明します。 | | | | |
| 予習 | シラバス・本講義の目的、到達目標等の内容確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 公的扶助とは何か：内容整理 | | | 約2時間 |
| 2. 公的扶助の概念 社会保険と比較しながら公的扶助の特質を学びます。また、ナショナル・ミニマムという概念の理解を目指します。 | | | | |
| 予習 | 公的扶助・社会保険の役割：調べ学習(予習) | | | 約2時間 |
| 復習 | 公的扶助の役割と意義：内容整理 | | | 約2時間 |
| 3. 貧困の概念と貧困状態にある人の生活実態 貧困とは何かを考えます。その際、貧困に関する多様な見方を紹介します。また、貧困状態にある人の生活実態についても学習します。 | | | | |
| 予習 | 貧困概念：調べ学習(予習) | | | 約2時間 |
| 復習 | 貧困の概念と貧困状態にある人の生活実態整理 | | | 約2時間 |
| 4. 貧困状態にある人を取り巻く社会環境 貧困問題を考えるうえでは、社会環境の理解が欠かせません。ここでは、貧困者を取り巻く環境の変化を歴史的視点や国際的視点を踏まえて学習します。 | | | | |
| 予習 | 貧困状態にある人を取り巻く社会環境について：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 貧困状態にある人を取り巻く社会環境について、内容の整理 | | | 約2時間 |
| 5. 貧困の歴史① 貧困の歴史を概観し、日本の公的扶助の歴史について学習します。 | | | | |
| 予習 | 貧困観：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 貧困の歴史が個人的貧困観から脱却した過程について | | | 約2時間 |
| 6. 貧困の歴史② 日本ならびにイギリスの公的扶助の歴史について学習します。 | | | | |
| 予習 | 救貧法とは：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 日本とイギリスの公的扶助の歴史に関して、同異を整理する。 | | | 約2時間 |
| 7. 生活保護制度の目的と原理、原則 公的扶助を体現した生活保護制度の目的と原理、原則について学習します。 | | | | |
| 予習 | 生活保護法の原理・原則：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活保護法の原理・原則の内容整理 | | | 約2時間 |
| 8. 生活保護の種類と内容および方法 生活保護の種類と内容および方法について、具体的に学びます。 | | | | |
| 予習 | 大分県の生活保護基準：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活保護の種類について内容整理 | | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 公的扶助論 (Public Assistance) 田中 秀和 | 授業コード | E017701 |
|--|------------------------|------------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 9. 生活保護の権利・義務・財源・動向 生活保護の権利・義務・財源・動向などについて多角的に学びます。 | | | | |
| 予習 | 被保護者の権利と義務：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活保護の動向：内容整理 | | | 約2時間 |
| 10. 生活困窮者自立支援制度① 生活困窮者自立支援制度について、その理念と概要を学びます。 | | | | |
| 予習 | 生活困窮者自立支援制度の理念：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活困窮者自立支援制度の内容整理 | | | 約2時間 |
| 11. 生活困窮者自立支援制度② 生活困窮者自立支援制度について、組織と実施体制、相談支援の流れ、制度の動向を学びます。 | | | | |
| 予習 | 生活困窮者自立支援制度の実施体制：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活困窮者自立支援制度(実施体制)の内容整理 | | | 約2時間 |
| 12. 生活福祉資金貸付制度・低所得者対策・ホームレス対策 低所得者対策について学びます。具体的には生活福祉資金貸付制度、公営住宅制度、ホームレス対策等について学習します。 | | | | |
| 予習 | 低所得者対策とは：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 生活福祉資金貸付制度などの内容整理 | | | 約2時間 |
| 13. 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割① 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学びます。具体的には、支援における公私の役割関係、国、都道府県、市町村の役割、福祉事務所の役割などについて学びます。 | | | | |
| 予習 | 貧困に対する関係機関：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 貧困における公私関係の内容整理 | | | 約2時間 |
| 14. 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割② 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について学びます。具体的には、自立相談支援機関の役割、関連する専門職等の役割について学びます。 | | | | |
| 予習 | 関連する専門職とは：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 自立相談支援機関の役割：内容整理 | | | 約2時間 |
| 15. 貧困に対する支援の実際とまとめ これまでの講義を通して、現代の貧困問題についての理解を深めます。 | | | | |
| 予習 | これまでの講義に関して復習：調べ学習 | | | 約2時間 |
| 復習 | 現代社会の貧困について内容整理 | | | 約2時間 |
| 16. 期末試験 | | | | |
| 予習 | | | | |
| 復習 | | | | |